

(5) 定点把握対象五類感染症の感染症別報告状況

ア インフルエンザ定点

平成28年は年間報告数17,989例、年間定点当たり報告数264.08、年間定点当たり報告数の過去5年平均値(平成23年から平成27年まで、以下同じ。)との比1.25、前年比1.77であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数と比べると、平成21年、26年、平成24年に次いで多かった。

月別定点当たり報告数では、2月(151.38)、3月(56.79)が多く、5月～11月の報告数は少なかった。

年齢階級別では、5～9歳(29.4%)が最も多く、次いで0～4歳(18.0%)、10～14歳(15.2%)の順となり、14歳以下が全体の62.6%を占めた。

